

三段盆棚の飾り方・お供え物

お飾り

ほおずきや栗等、今年採れた作物などを吊下げます。

敷物

盆棚の上に金襴の布、またはゴザを敷き、その上にお供え物を乗せます。

三段盛

供え物：
上…つみだんご
中…お菓子
下…くだもの

茶水台(ちゃすいだい)

供え物：左…お茶、右…お湯

まこも

まこもを敷いて、その上にお膳をお供えします。

箸

おからで作り、仏様側に置きます。

竹笹(たけささ)

お飾りを吊り下げするための青竹を取り付けます。

ハスの葉

キュウリとなすを細の目に切って洗米で混ぜたもの(水の子)を供えます。

牛馬

仏様が極楽浄土とこの世を行き来するための乗り物です。精霊が馬に乗ってこの世に早く帰り、牛に乗って(名残惜しむように)ゆっくり戻る説と、精霊が馬に乗り、荷物を牛に乗せるとい説があります。

新仏位牌

先祖代々(上座)

盆ちょうちん

仏様がこの世に帰ってくるための目印です。

花瓶

菊などの色花をいけてください。

経机(きょうづくえ)

ろうそく、香炉、りんを置きます。

餓鬼仏のお膳

経机の下側に供えます。

い草の座布団

僧侶やお客さまが来た時のために用意します。

経木のお膳

1組はご先祖様に、もう1組は新仏に供えます。供え物は次ページの表をご覧ください。

水向け

茶碗に水を入れ南天・みそはぎの葉等を置きます。僧侶がお経を読む時に使います。



吊りちょうちん

吊りちょうちんは“迎えちょうちん”ともいいます。軒下か玄関に吊るします。初盆では何も模様が入っていない白ちょうちんを吊るしますが、現在は模様が入ったものを利用するお宅も多くなりました。



たいまつ

玄関近くで炊きます。13日に“迎え火”を、15日に“送り火”を焚きます。
※たいまつが消化するまで火から離れないようにしましょう。



霊供膳

経木のお膳に代わり、霊供膳でお供えしても良いです。
※宗派によって並べ方が違いますので、詳しくはやまきの販売スタッフまでお尋ねください。

お供え物について

	13日(一日目)	14日(二日目)	15日(三日目)	16日(四日目)
朝		白飯 七色汁	白飯 冷汁	白飯 漬物
昼		おはぎ	そうめん	
夜	あん団子	白飯 瓜もみ	白飯 天ぷら (野菜)	箸の向き 7 食事をするのは 仏様なので、 箸は位牌側に 置いてください。

七色汁

なす・れんこん・ごぼう・しいたけ・油揚げ・里芋・かいわれの7種類の材料でつくる味噌汁



冷汁



瓜もみ

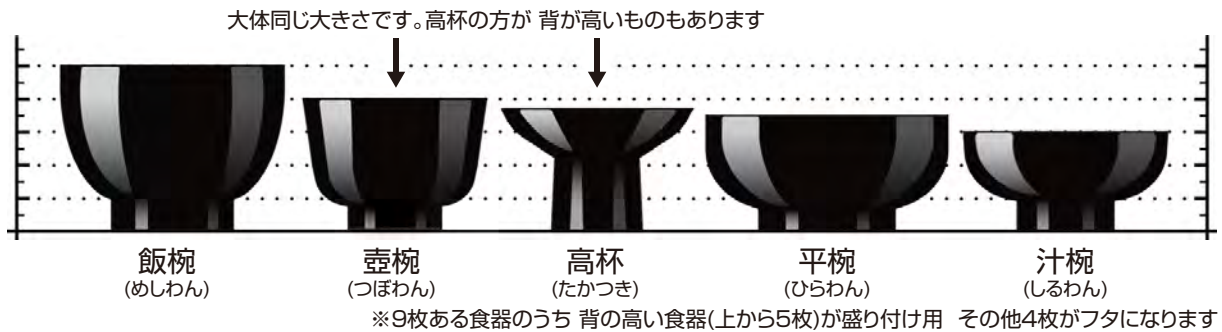


煮物



霊供膳について

器の背の高さ



飯椀 (めしわん)	ご飯を供えるための器です。炊き立てのご飯を、きれいに丸く高く盛り付けます。
壺椀 (つぼわん)	煮豆や和え物、酢の物などを供えるための器です。
高杯 (たかつき)	白菜やキュウリなどのお漬物、塩もみ、ぬか漬け、梅干しなどを供えるための器です。
平椀 (ひらわん)	煮物を供えるための器です。
汁椀 (しるわん)	みそ汁やお吸い物を供えるための器です。

※注意 お料理は全て 植物性(野菜や豆腐等)を使ってください。動物性(魚や肉等)は使ってはいけません!

各宗派の並べ方

※お膳の向きに注意

お供え物を正しく配置した後、箸の置いてある面を仏様側(御本尊や位牌のある奥側)に向けてください。
お食事をするのは仏様であることを忘れず!

真言宗・日蓮宗・天台宗・法華宗

〈箸を奥側に置いたとき〉

飯椀(ご飯) … 右奥 高杯(漬物) … 中央 壺椀(煮豆) … 左手前
汁椀(汁物) … 左奥 平椀(煮物) … 右手前



浄土宗

〈箸を奥側に置いたとき〉

飯椀(ご飯) … 右奥 高杯(漬物) … 中央 壺椀(煮豆) … 右手前
汁椀(汁物) … 左奥 平椀(煮物) … 左手前



臨済宗・曹洞宗

〈箸を奥側に置いたとき〉

飯椀(ご飯) … 右奥 高杯(漬物) … 左手前 壺椀(煮豆) … 中央
汁椀(汁物) … 左奥 平椀(煮物) … 右手前

